

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	いきいき高齢者通所支援事業			事業コード	2078
担当課等	所属名	玉山総合事務所 健康福祉課		担当係名	
	課長名	高橋 洋	担当者名	伊五澤 由貴子	電話番号

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	いきいきとして安心できる暮らし	コード 1	施策	高齢社会に適応した高齢者福祉の充実	コード 4
	基本事業	高齢者福祉サービスの充実	コード 2	関連予算 費目名	一般会計 3款 1項 3目 いきいき高齢者通所支援事業(007-14)	
	特記事項					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度			⇒ (開始年度 平成12年度年度～)		
事務事業の概要	玉山区に住所を有する65歳以上の介護保険対象外の高齢者に、1週間に1度通所サービスを提供する。					
根拠法令等	盛岡市いきいき高齢者通所支援事業実施要綱					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
平成12年の介護保険制度開始に伴い、介護認定審査の結果非該当と判定された高齢者に対し、介護予防のためのサービスとして開始された。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
ぜひ継続してほしいとの要望が出されている。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどう変化したか。今後の見通しはどうか						
平成18年度から介護保険制度下でも、地域支援事業として介護予防サービスの提供が可能だが(盛岡市二次予防対象者訪問型・通所型介護予防事業)、玉山区民を対象としたきめ細かい事業を行うことで、介護予防法下による事業では対応が困難な、引きこもりがちな高齢者を社会参加に導く事業としてますます期待が高まっている。						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	概ね65歳以上の区内に住所を有する介護保険対象外のひとり暮らし高齢者等	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 区内に住所を有する65歳以上単居又は高齢者世帯人数(前年度「高齢者名簿集計表」より) B. C.	単位 人
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) ・申請事務、承認、提供依頼 ・毎月の業務集計確認、委託料支出 ・委託事業者との契約事務 23年度計画(23年度に計画している主な活動) 22年度に同じ	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 利用者数 B. 延利用者数 C.	単位 人 単位 人 単位
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	高齢者が家に閉じこもらないようにするため、この事業を通じて社会参加を促進し、孤立感の解消を図るとともに、要介護状態にならないよう予防する。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 1日平均利用人数 【指標の性格:○上げる ○下げる ●維持する】 B. 利用者の介護保険認定への移行数(23・24年度計画は過去5年間実績の平均値) 【指標の性格:○上げる ○下げる ●維持する】 C. 【指標の性格:○上げる ○下げる ○維持する】	単位 人 単位 人 単位
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するか)	日常生活を安心して不便なく送ることができる	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	相談などを受けている高齢者数(単位:人) 介護予防事業参加者数(単位:人) 介護保険サービス利用者数(単位:人)	

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	区内に住所を有する65歳以上独居又は高齢者世帯人数(前年度「高齢者名簿集計表」より)	人	979	1,007	1,020	1007	1007	1007	年度
対象 指標B									年度
対象 指標C									年度
活動 指標A	利用者数	人	110	128	128	111	111	111	年度
活動 指標B	延利用者数	人	3,842	3,855	3,855	3,245	3,245	3,245	年度
活動 指標C									年度
成果 指標A	1日平均利用人数	人	16.0	16.0	16.0	14.1	15.0	15.0	年度
成果 指標B	利用者の介護保険認定への移行数(23・24年度計画は過去5年間実績の平均値)	人	5.0	9.0	8.0	3.0	4.6	4.6	年度
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	1,315	1,315	1,308	1,274	1,308	1,308	*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	1,315	1,315	1,308	1,274	1,308	1,308	*****
	⑧その他	千円							*****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	1,315	1,315	1,308	1,274	1,308	1,308	*****
延べ業務時間数		時間	192	192	192	192	192	192	*****
職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)		千円	768	768	768	768	768	768	*****
トータルコスト(A)+(B)		千円	2,083	2,083	2,076	2,042	2,076	2,076	*****

3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 高齢者の社会参加を促進し、生きがいづくりと介護予防になっており、高齢者の日常生活の安心に結びついている。
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 介護認定を受けていない高齢者を対象としており、介護予防の観点から市が実施すべき事業である。
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 引きこもりがちな高齢者や介護保険事業所が受け入れ困難な山間部等に居住している方を対象とした事業であり、妥当である。
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 介護予防に絞った事業であり妥当である。
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 向上余地がない	その内容: 開催回数を増やしたり、現在よりも専門的な運動機能を向上させるプログラムを織り込めれば、更なる介護予防効果が期待できると考える。
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: 要介護者が増加することが予想され、高齢者の在宅福祉の低下につながる。
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 類似事業がある <input type="radio"/> 類似事業がない	事業名: 生きがい活動支援通所事業 ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> できない 理由: 本事業は玉山区に居住している者を対象としており、統廃合・連携は難しい。
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 事業費は委託料であり、開催回数の減少などサービス低下につながり、介護予防が見込めなくなる可能性があり削減できない。
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 委託に係る契約事務や実施報告処理・委託料支出に係る時間であり、これ以上の削減は難しい。
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 介護保険制度を利用できかねる高齢者等を対象としており、妥当である。
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 利用者から昼食代及び材料代等の実費負担を導入している事業である。

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革/改善方向	<p>①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1, 代替案その2とすること 高齢者が増加する状況の中、要介護状態への移行を抑制する本事業は、市民の在宅福祉向上のため、また介護保険給付費が増加している財政状況を考えても、非常に重要な事業と考える。継続して実施すること及び市民が参加しやすい魅力的な事業内容とする必要である。</p> <p>②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？ (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む) 参加したくなる魅力的な事業であり続けるため、参加者アンケート等を実施して参加者のニーズを把握し取り入れていく。</p>
---------	--

5. 課長意見

一次評価	<p>(1)一次評価者としての評価結果</p> <p>① 必要性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり : ② 有効性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり : ③ 効率性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり : ④ 公平性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり :</p>	<p>(2)全体総括(振り返り, 反省点)</p> <p>介護保険制度による類似の予防サービスが実施されているが、玉山区は地理的に遠隔地であり、当該予防サービスを利用できない状況にあることから、今後も当該事業の継続が必要である。また、事業内容を検討しながら、今後も、ひとり暮らし高齢者の生活向上のために事業内容を検討しながら進める必要がある。</p>							
今後の方向性と改革改善案	<p>(3)今後の事務の方向性(改革改善案)</p> <table border="1"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 終了</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> <td rowspan="3"> → <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 </td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>方向付けの理由と改革改善の内容</p>		<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	→ <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止		
<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	→ <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携							
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止								